

公共交通オープンデータの活用で市民の足を守り定住できる街づくり！（岐阜県中津川市）

取組概要

- 地域公共交通網形成計画で**移住定住を推進するためには公共交通網の維持が必要**との基本方針を掲げ、公共交通が果たすべき役割を明確化。
- 民間路線バスも含めたバス情報（GTFS-JP）整備とオープンデータ化を実施。**オープンデータとICT技術の活用で衰退傾向の続く地域公共交通網の維持・活性化**に取り組む。
- わかりやすく使いやすい公共交通を実現し、公共交通を必要とする人が安心して移動ができ、「**いつまでも住み続けたい街、住んでみたい街**」にすることを目指す。

人口 **78,299人** (R2.1.1現在)
 担当 **中津川市定住推進課**



学生や来訪者、観光客の移動には、公共交通の存在は欠かせません。

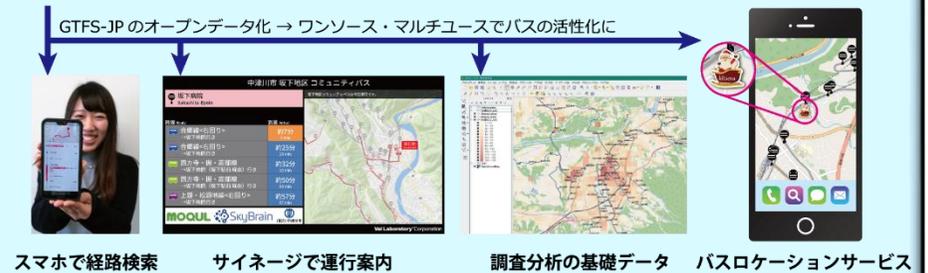
取組の効果

- ひとつのデータを整備し活用することで様々な施策に生かす「ワンソース・マルチユース」で**地域公共交通網を守る！**
 - ①インターネット経路検索への対応（多言語対応）
 - ②デジタルサイネージでバス情報の提供
 - ③バスロケーションサービスでバスの魅力を引き出す etc.
- バス路線を認知した媒体として、訪日客の約2割がGoogle経路検索と回答。**公共交通利用環境の改善**につながった！
- 人員不足の交通事業者がICT活用による**生産性向上と業務効率化**へ



標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）

バス停位置、運行時刻、ルート、運賃などの情報が格納された圧縮ファイル

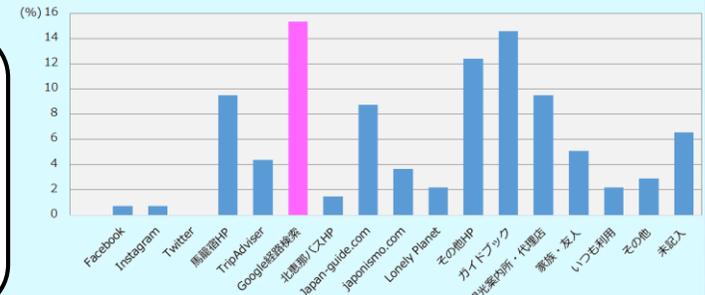


創意・工夫した点

- 事業継続性を担保する人材育成
→岐阜県庁へ働きかけ、**県内市町村担当者向けデータ整備勉強会**を開催。
- 全国各地で中津川市の事例を紹介し**全国への横展開**を図る。
- 中津川市周辺を運行する**交通事業者や他自治体のデータ整備に協力**。

他団体へのアドバイス

- データを活用して付加価値を生みだす取り組みを！
→データ整備やオープンデータ化が目的ではありません。
- データ活用でバスの**利便性向上と活性化、業務改善**につなげていくことが大切だと思います。



Q:馬籠行きバスをどのように知りましたか？